

----- (前回からの続き) -----

発注先のウェブデザイナー変更に関する打ち合わせから戻った翌朝、チアキは同僚のモトコに結果を伝えた。モトコはチアキと同じ年齢だが、この会社でウェブデザインのアルバイトをしていて、そのまま入社した経歴がある。

そのため、会社生活はチアキより長い。単なるウワサ好きなのもあるが、社内事情に通じているので、チアキが一目置いている同僚でもある。もともとチアキとモトコのグループはクライアントの種類が違うのだが、協力して仕事をすることは多い。

チアキ「...ということだから、来週の火曜日には頼んであったページのデザイン画が上がってくるわ。ちょっと日程が詰まっているけど大丈夫？」

モトコ「オッケー。誰だと思ってるのよ。任せなさい!...ところでさあ」

チアキ「何?後は別に申し送りはないわよ」

モトコ「タイチさんとは結構、打ち合わせしてるようじゃない。何か教えてもらってるんだって？」

チアキ「DOSをちょっとね。スキルアップしたいしさ」

モトコ「ふーん。なるほどねえ...」

チアキ「何よ？」

モトコ「別に。じゃ、仕事に戻ろうかなって」

*

ところで、タイチ先輩は列車に間に合ったのかな。社内にはいないようだけど...。

モトコとのミーティングから自席に戻ったチアキはメールが来ていることに気付いた。タイチからだ。社内では仕事の都合もあって、意外にオープンにメールアドレスの交換がある。

今回のウェブサイトのプロジェクト結成時にも先輩と交換したんだっけ。アドレス覚えてくれてたんだ...ちょっと嬉しいかな。

『おつかれさまです。あの後、ギリギリで列車に間に合いました。こちらでの打ち合わせには一週間を要するので、来週月曜日のウェブサイトのデザイン変更に関する社内打ち合わせには出席できません。発注先での話をベースにして社内納期の調整をしてください。二日程度の遅延ならば開発部隊の方は文句を言わないように先に話を付けておきます。さて、DOSの説明ですが、理解できましたか?ディレクトリの理解がDOSがわかる一つの山ですから、無事に乗り越えられればいいですね。しばらく、そちらには戻れないのでよければ自習してみませんか?こちらでの仕事が引けてから自

習内容をメールしますので、遅くなるとは思いますが、じゃあ。』

チアキはさっそくメールを返信しておいた。

『是非、お願いします。メールで理解できるか不安ですが、頑張ります。でも、自宅のパソコンは旧式のWindows98なんですけど、大丈夫でしょうか？』

タイチも忙しいようですぐに返信はなかったが、退社直前にメールが戻ってきていた。タイチが出張先に持っていったノートパソコンはOSの切り替えができるようになっていたので問題ないとの返答だ。ちょっと、ほっとしたけど、メールでDOSの説明なんてできるのかしら…。

とにかく、興味だけは人一倍強いチアキは、早めに退社して自宅でメールを見ることにした。結局、メールがタイチから届いたのは22時を過ぎていた。

タイチ『メールが遅れました。ちょっと打ち合わせが難航してまして。では、ディレクトリの作成と削除を説明します』

タイチらしい文面を見て、フッと笑みがこぼれる。タイチ先輩のメールって、ですます調でとても他人行儀な感じになるんだよね。

タイチ『Windowsでは、右クリックして、メニューからフォルダの作成を選択するとフォルダが作成されます。DOSの場合はcdコマンド同様に、ディレクトリを作成するためにはパソコンにコマンド入力します』

ふーん。そうなのかあ。確かにWindowsではマウスでフォルダを作るけど、DOSってマウスがないからキーボードで何か指示して作るんだ。なるなる。

タイチ『まず、DOSを起動させてください。その後、ルートディレクトリに移動してください』

チアキはタイチから学んだとおりに、DOSを起動させてみた。

チアキ「私のパソコンは、Windows98だからスタート、プログラム、アクセサリ、MS-DOSプロットと。よし、出た」

おなじみの真っ黒のDOS画面が出てきた。

```
Microsoft(R) Windows 98  
(C)Copyright Microsoft Corp 1981-1999.  
C:¥WINDOWS>
```

チアキ「ええっと…ルートディレクトリに移るんだから、"cd ¥"ね。楽勝！」

C:¥WINDOWS>cd ¥

タイチ 『C:¥>プロンプトになっていることを確認したら、次のコマンドを入力してください(mkdirとfoobarの間は半角スペース)』

『C:¥>mkdir foobar』

チアキ 「ふうん。そのまま、書かれているとおりに打つしかないわね」

コマンドを入力したチアキの画面には、プロンプトの"C:¥>"が相変わらず表示されていた。何も変わらないじゃない?変だなと思いながらタイチからのメールを読み進んだ。

タイチ 『C:¥>プロンプトがまた表示されたと思います。画面上は何も変わっていませんが、foobarディレクトリが作成されています。その証拠に次の移動コマンドを入力してください』

『C:¥>cd foobar』

私の考えてることはお見通しってこと?わかりましたよ。そのまま、言われるとおりにコマンドを打ってことよね。

タイチ 『C:¥foobar>プロンプトになりましたか?なっていたらfoobarディレクトリの作成に成功し、ディレクトリ移動にも成功しています』

何か誘導されるようにディレクトリを作成したけど、見直さなきゃよくわかんないやとチアキが思って、次の行を読んだ。

タイチ 『疲れたので次の夜にしましょう。では』

チアキ 「フッフ。はいはい。そうします」

チアキは妙にウキウキしている自分に気が付いた。メールのやり取りでこんなに近くにいるように感じられるなんて...

タイチのメールの書き方がうまいことは確かだが、メールを今まで友達との連絡にしか使っていなかったチアキとすれば、また新しい別の世界があることを知った気がして嬉しかった。

WINDOWSディレクトリやSYSTEMディレクトリはWindowsの動作に必要なファイルがたくさん入っていますので、ここで示したコマンド以外は入力しないで下さい。Windowsが起動しなくなる恐れがあります。

----- (つづく) -----